

安全設備（螺旋階段）



まると
丸十工業 株式会社

施 工 手 順

1. 地上において設置高さに合わせた本数を用意し、螺旋のステップを合わせてフランジ同士をボルトで結合します。



2. クレーンで吊り上げ、所定の位置に設置します。



3. 揺動・転倒防止のためにブラケット、アングル、レバーブロック等を使用して固定します。



・覆工板が設置される箇所は、開口時に上部部材を取り付け、開口まわりの手摺と固定します。



設置事例

発進立坑（ライナープレート・鋼製ケーシング）



発進立坑（鋼矢板）



到達立坑（鋼製ケーシング・既設人孔・矩形ライナープレート）



ケーシングφ2000 呼び径φ300



ケーシングφ3000 呼び径φ700



既設人孔φ2400 呼び径φ800



集水井



既設井戸掘削（オールケーシング）



立坑築造



人孔築造

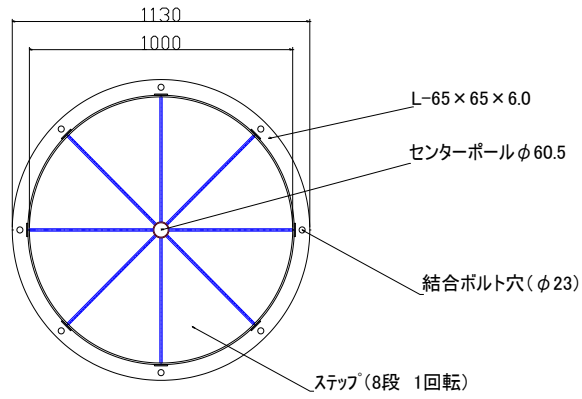


高所

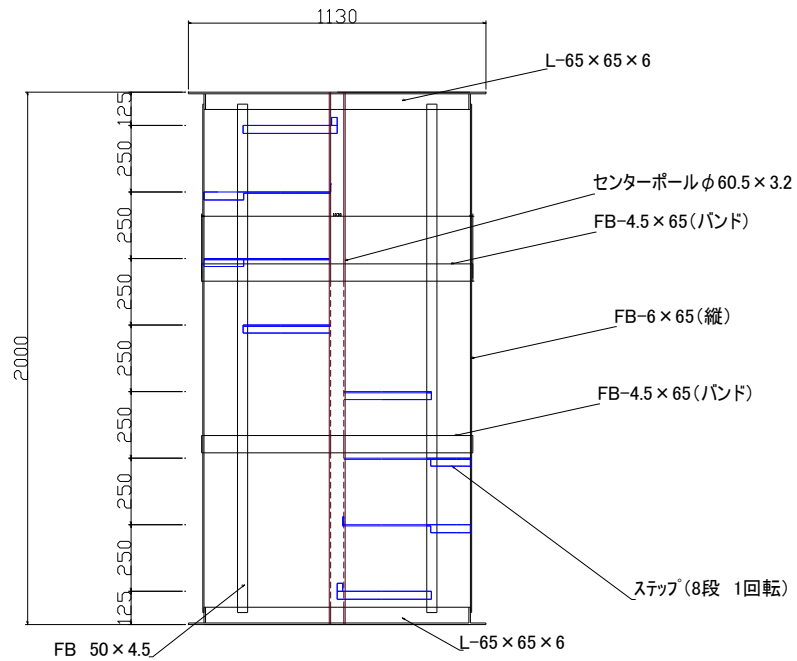


Φ1000 外フランジタイプ

平面図



断面図



富岡機材センター (螺旋階段・上部手摺・立入防止扉)



建設業においては、墜落・転落災害が一向に減少しません。

特に、梯子による昇降時の災害は、以下の要因が考えられます。

- ・昇降中、手足が滑ったり、踏みさんがしっかりと握れずに墜落
- ・梯子の上部を固定せずに昇降し、上部が移動して梯子とともに床に墜落
- ・軟弱であったり凹凸な場所に設置し、脚が沈下・傾斜して墜落
- ・梯子から身を乗り出して作業し、バランスを崩して墜落
- ・昇降途中に声を掛けられ、気が逸れて墜落
- ・身近なものであるために安易に使えると言う「危険意識の欠如」により墜落

このような墜落災害を防止するために、弊社では、昇降を必要とするすべての人の**安全を第一**に考え、ケーソン工事で培われた技術を基に、昇降設備に自社製作の螺旋階段を使用しています。

また、2024年（R06）に多接続時の小休止、滑落防止のため踊り場を取り出すことが可能な螺旋階段を考案し、NETISに「下部縞鋼板引き出し式踊り場付き螺旋階段（KT-240074-A）」として登録されています。

下部縞鋼板引き出し式踊り場付き螺旋階段



丸十工業 株式会社

本社	〒442-0875	愛知県豊川市佐奈川町15番地
	TEL 0533-85-8058	FAX 0533-89-1807
新潟支社	〒950-0914	新潟県新潟市中央区紫竹山5丁目7番29号
	TEL 025-288-1852	FAX 025-288-1862
九州支社	〒893-0026	鹿児島県鹿屋市祓川町5313番地
	TEL 0994-43-3527	FAX 0994-43-3415
東京支社	〒140-0001	東京都品川区北品川2丁目11番1 ベイテラス北品川203号
	TEL 03-6718-4235	FAX 03-6718-4340
西日本支社	〒463-0803	愛知県名古屋守山区日の後1411
	TEL 052-739-5752	FAX 053-739-5751
富岡機材センター	〒441-1335	愛知県新城市富岡字東門沢81-10
	TEL 0536-26-0436	FAX 0536-26-0436